

平成20年 3月17日
国土交通省東北地方整備局
三陸国道事務所

仙人峠道路が開通して

釜石市の観光客が7年ぶりに100万人突破！！

～観光客による消費額11億円増～

平成19年3月18日に全線開通した
一般国道283号「仙人峠道路」の開通効果について（1年後）

平成19年3月18日に開通した「仙人峠道路^{せんにとうげどうろ}L=18.4km」の開通による1年後の開通効果について、お知らせします。

■観光による地域活性化について「別紙－1」

- ・釜石への観光客が7年ぶりに100万人突破し、観光消費額は1.2倍の約11億円増加しました。

■交通事故の削減について「別紙－2」

- ・仙人峠での死傷事故件数が年間を通して半減し、冬期間では5分の1に減少しました。

■通院の利便性向上について「別紙－3」

- ・遠野市から釜石市に通院する妊産婦の割合が6%増加しました。

■リサイクル事業の拡大について「別紙－4」

- ・廃プラスチックのリサイクル事業を行っている企業では、内陸地域との取引が開始され取引先が約3倍に拡大し、取扱量は1.5倍に増加、釜石港からの輸出货量も1.3倍に増加しました。

発表記者会：岩手県政記者クラブ、釜石記者クラブ、東北専門記者会

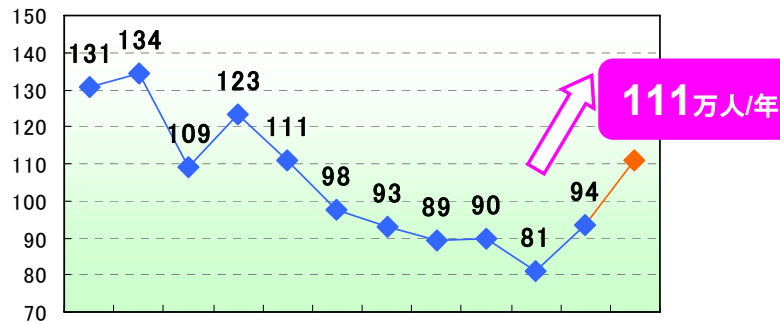
【お問い合わせ先】

国土交通省東北地方整備局	三陸国道事務所（岩手県宮古市藤の川4－1）
副 所 長 文屋 泰雄	代表0193-71-1711（内線204）
調 査 課 長 田中 誠柳	〃 （内線451）

観光による地域の活性化

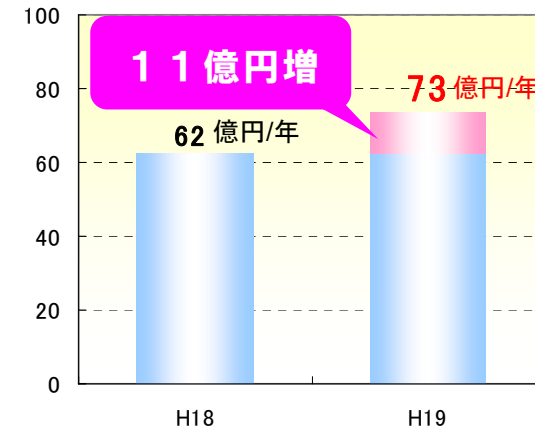
別紙-1

●釜石市への観光客が7年ぶりに100万人突破
観光消費額は1.2倍の約11億円増加しました



※H17の落込みは、「まるごと味覚フェスティバル」時の天候不順等による

▲観光入込数の変化(釜石市) (H20.1釜石市資料)



※(111-94)万人/年×6,657円=11億円/年
※1日1人当り観光消費額 6,657円 (H18岩手県観光統計概要)

▲釜石市での観光消費額の変化(試算)

遠く茨城からも観光バスツアー新設！
＜茨城交通(株)の「浪板海岸物語」＞

新仙人トンネル 開通記念 三陸湯めぐり 浪板海岸物語

ST101A 岩手県 1泊2日 ハワイ 海洋深層水 利用 4人1泊 1万円を要する

浪板海岸ホテル 健太

ヨコポイント

- 遠野ふるさと村では、曲り家でまぶりっから「遠野の昔話」を!
- 3/18 14:00 新仙人トンネル開通!近くなった陸中海岸!
- 釜石に花開いた栄光の製鉄の歴史、「鉄の歴史館」を見学
- 陸中海岸国立公園を代表する景勝地「釜石海岸」を見学
- 浪板観光ホテルからプレゼント!
- ①宴会時、海産物が当たる抽選会を開催!
- ②抽選にもれてしまっても、全員に新巻鮭1本!
- うれしい昼食と食付
- 1日目:雄っつみ田舎御膳 2日目:ふかひれ丼

イメージ

4・5月で
5回運行

利用客数
177名!

コース	
1	各地-常磐道-中郷SA(7:20頃)-常磐-磐越-東北道-花巻IC-花巻-金婚亭(昼食)-遠野ふるさと村-新仙人トンネル-釜石-浪板海岸(16:40頃)
2	浪板海岸(8:00)-釜石-鉄の歴史館-釜石海岸-気仙沼ホテル観洋-海の村(昼食)-河北IC-三陸道-利府中IC-塩釜-ヤマト佐良-仙台東IC-仙台東部-仙台南部-東北-磐越-常磐道-中郷SA(19:25頃)-常磐道-各地

(H19観光業者FAXアンケート調査結果より)



『釜石まるごと味覚フェスティバル』も好天で大賑わい
(平成19年10月13~14日)

(写真: 釜石市提供)

交通事故の削減

別紙ー2

●仙人峠での死傷事故件数が年間を通し半減
冬期間では5分の1に減少しました

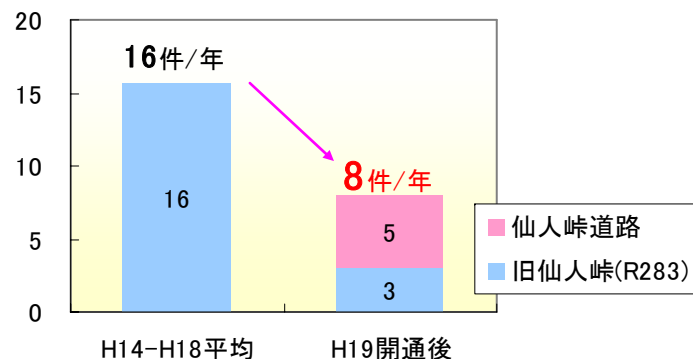


開通前
急カーブ・急勾配・狭幅員で
多発していた交通事故



開通後
走行安全性が大幅に向上

年間死傷事故件数5割減少！



※H19開通後：H19.3.18～H20.2.29間(約1年)の件数

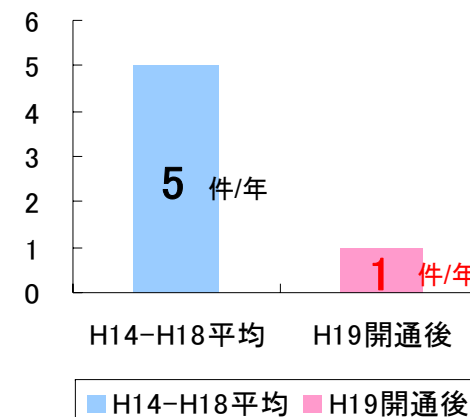
▲年間死傷事故件数の変化

((財)交通事故総合分析センター・釜石警察署・遠野警察署資料)

冬期の死傷事故も大きく減少！

仙人峠道路開通前、
冬期(12月～2月)の
間に平均5件の死傷
事故が発生していまし
た。

仙人峠道路開通後
は、国道283号と仙人
峠道路を合わせ1件と、
冬期の死傷事故が大
きく減少しました。



※H19開通後：H19.12.1～H20.2.29間の件数

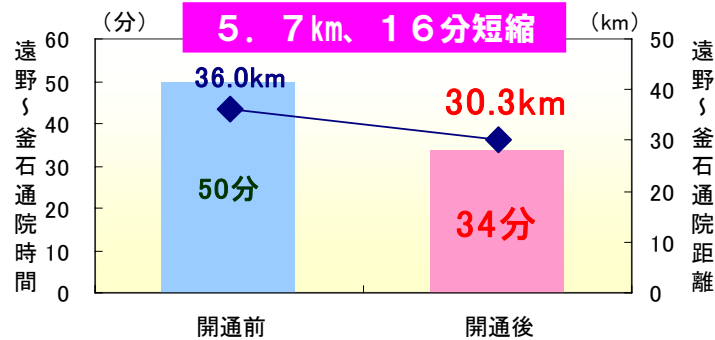
▲冬期(12～2月)死傷事故件数の変化

((財)交通事故総合分析センター・釜石警察署・遠野警察署資料)

通院利便性の向上

別紙－3

●遠野市から釜石市に通院する妊産婦の割合が6%増加しました



▲遠野～釜石間の通院距離・時間の変化
(H17道路交通センサス、H19.4プローブ調査)

妊婦さんに嬉しい通院環境の向上

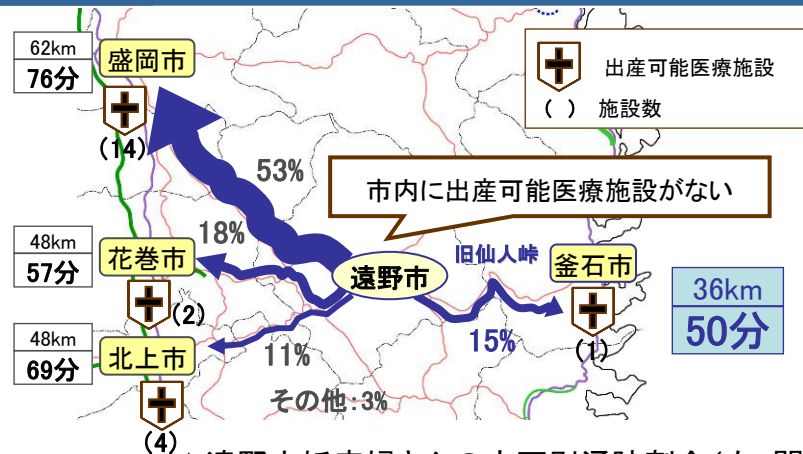
お産が始まってから、**30分くらいで釜石の病院に着ける移動時間**というのは、妊婦さんにとってだいぶ安心できる環境になりました。



また、妊婦さんは集中力の持続が難しいので、**狭いトンネルや急カーブなどがなくなり、運転が楽になった**のは非常に助かります。

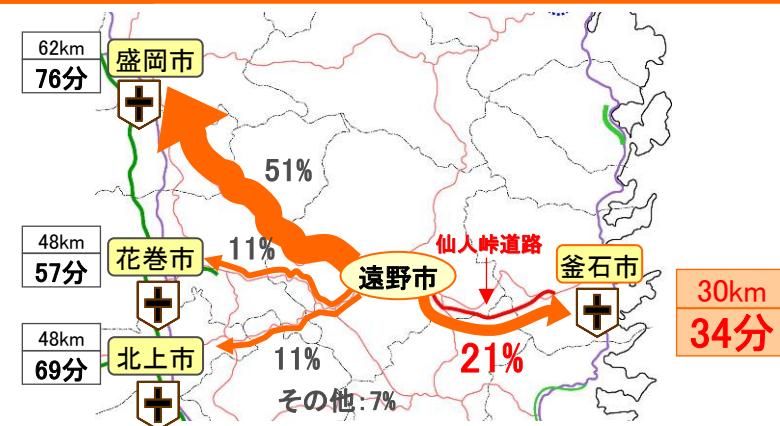
(H20.1 遠野市助産師 菊池幸枝さんのお話)

整備前 通院の8割以上が内陸方面に依存



▲遠野市妊産婦さんの方面別通院割合(左:開通前(H18.1月～12月)／右:開通後(H19.4月～12月))

整備後 釜石市への通院割合が6%増



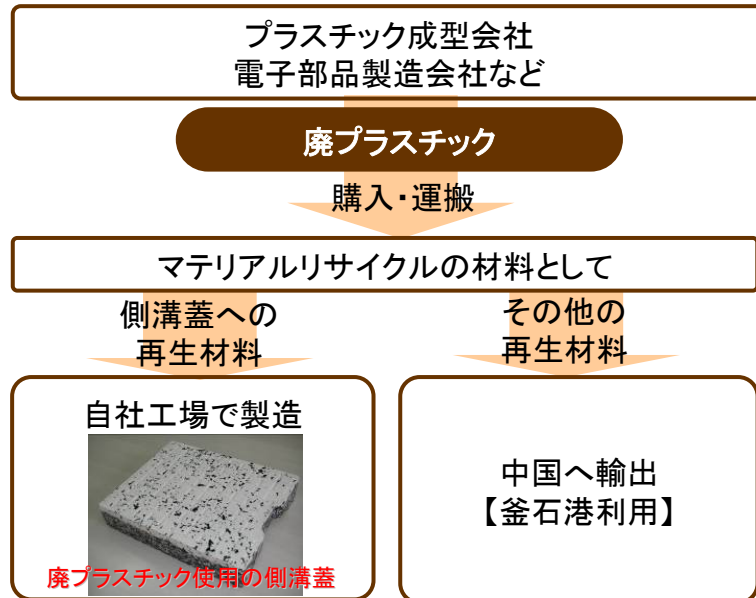
(H19遠野市資料、H17道路交通センサス、H19.4プローブ調査、岩手県産婦人科医会HP)

リサイクル事業の拡大

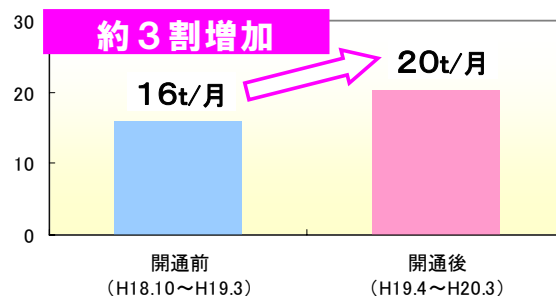
別紙ー4

●仙人峠道路の開通を契機に内陸の企業との廃プラスチックの取引を開始、取引先が約3倍に拡大、取引量が1.5倍に増加、釜石港からの輸出量も1.3倍に増加しました

＜A社(釜石市)の事例＞



▲廃プラスチックリサイクルの流れ



※開通前2回分、開通後2回分(不定期)の輸出量を月平均として算出

▲釜石港からの廃プラスチック輸出量

・仙人峠道路の開通を契機に内陸の企業との取引を開始しました。今後も内陸での取引拡大を図ってまいります。
(A社(釜石市)ヒアリングより)

